

(記載例)

様式第7号 (用紙 日本産業規格A4縦型)

- ・実績報告書を提出する日を記載
- ・提出期限は、事業完了日から起算して30日以内又は、4月10日のいずれか早い日までとなります。

実 績 報 告 書

第 号
令和7年○月×日

静岡県知事 鈴木 康友 様

- ・法人は、会社名及び代表者の職氏名を記載してください。
- ・個人事業主は、「名称」欄に「屋号」、「代表者」欄に「代表 氏名」(例：代表 静岡 太郎)と記載してください。

- ・法人は、履歴事項全部証明書の本店所在地を記載してください。
- ・個人事業主は、住民票の住所を記載してください。

所在地 静岡市葵区追手町9-6
名称 静岡××株式会社
代表者 代表取締役 静岡 太郎

令和6年×月○日付け商経第□号-△により補助金の交付の決定を受けた中小企業等収益力向上事業が完了したので、関係書類を添えて報告します。

交付決定通知に記載された日付と番号を記載してください。

(注) 法人その他の団体にあつては、以下の項目についても記載すること。

責任者 職・氏名 代表取締役 静岡 太郎
作成者 職・氏名 経理担当 静岡 五郎

法人その他の団体の場合に記載
※個人事業主の場合は記載不要

交付決定通知を御用意ください。

商経第□号 - △
令和6年×月○日

静岡××株式会社
代表取締役 静岡 太郎 様

静岡県知事 鈴木 康友

補助金の交付決定について

令和6年×月×日付けで申請があつた令和6年度中小企業等収益力向上事業費補助金の交付について、次のとおり決定します。

(記載例)

交付決定後に計画変更の申請を行い、承認を受けている場合には、変更後の事業計画書に基づいて、事業実績書を作成してください。

1 事業実績書(様式第8号)の作成について

作成にあたり、交付決定を受けた際の事業計画書(様式第2号)をご用意ください。

様式第8号 事業実績書(1年目) **事業実績書(実績報告様式)**

事業計画書(様式第2号)からの該当箇所の転記等により作成してください。

中小企業等収益力向上事業

1 補助事業の内容

(1) 補助事業の実施内容

【テーマ名】 **×××の試作・改良**

区分	内容
目的	自社で試作した、□□□を使った×××について、訪日客をターゲットとした独自の商品となるよう改良する。
実施時期	交付決定日～令和7年3月
担当者 (実施体制)	静岡 五郎 (○△株式会社○○○氏から助言を受けて実施した)
取組内容	①自社で試作した□□□を使った×××について、○○○氏から助言を受け、訪日客(主に△△地域)に向けた商品となるよう味や見た目等になるように試作・改良を行った。 ②○○観光施設で、試作品の試食・アンケートを実施。評価や改良点等の分析を行った。 ③試食・アンケート結果を踏まえて、試作品を改良し、□□□を使った×××が完成した。
成果	訪日客をターゲットとした□□□を使った×××を完成できた。

【テーマ名】

区分	内容
目的	項目が不足する場合は、追加してください。
実施時期	

(2) 補助事業における目標の達成状況

目標	達成状況
訪日客をターゲットとした□□□を使った×××の完成	達成 未達成の場合には、今後達成に向けてどのように取り組むかについても併せて記入

(3) 実施場所

自社内、○○観光施設

事業実施場所を記入

事業完了年月日を記入

(4) 実施期間

交付決定日から **令和7年3月31日**

2 補助事業の進捗状況

計画(1年目)	実施状況
訪日客をターゲットに、自社独自の技術で加工した□□□を使った×××を開発する。	訪日客をターゲットとした、自社独自の技術で加工した□□□を使った×××の開発が完了した。

様式第2号 事業計画書(1年目) **事業計画書(交付申請様式)**

中小企業等収益力向上事業

1 補助事業の概要

訪日客をターゲットに、自社独自の技術で加工した□□□を使った×××を開発する。

2 補助事業の具体的内容

(1) テーマ名 **×××の試作・改良**

区分	内容
目的	自社で試作した、□□□を使った×××について、訪日客をターゲットとした独自の商品となるよう改良する。
実施時期	交付決定日～令和7年3月
担当者 (実施体制)	静岡 五郎 (○△株式会社○○○氏から助言を受けて実施)
取組内容	①自社で試作した□□□を使った×××について、○○○氏から助言を受け、訪日客(主に△△地域)に向けた商品となるよう味や見た目等になるように試作・改良する。 ②○○観光施設で、試作品の試食・アンケートを実施。評価や改良点等を分析する。 ③試食・アンケート結果を踏まえて、試作品を改良し、□□□を使った×××を完成させる。
成果目標	訪日客をターゲットとした□□□を使った×××の完成

【テーマ名】

区分	内容
目的	
実施時期	

(2) 補助金の交付を受けた実績(過去5年間実績を記入)

年度	補助金名	補助金交付者	実施した補助事業の内容及び成果
R5	○○○補助金	△△△	訪日客に関する調査を実施し、商品開発の方向性を決定した。

(3) 補助事業の実施日程

開始予定日	完了予定日
交付決定日	令和7年3月31日

(4) 補助事業における目標

目標
訪日客をターゲットとした□□□を使った×××の完成

(記載例)

経費は税抜で記入

事業実績書(実績報告様式)

事業計画書(交付申請様式)

転記

3 経費の積算明細

経費区分	積算の明細	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助金申請額	備考
専門家謝金	助言 50,000円×8回 400,000円 (内訳) ・商品改良への助言 8回	400,000	400,000	810,000	
専門家旅費	静岡⇄〇〇6,250円×2(往復)×8回 100,000円	100,000	100,000		
原材料費	〇〇〇 0.6kg 250,000円 □□□ 20,000円×3缶 60,000円	310,000	310,000		
機械装置費	■■■攪拌装置 1,500,000円	1,500,000	810,000		
合計		2,260,000	1,620,000	810,000	

3 経費の積算明細

経費区分	積算の明細	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助金申請額	備考
専門家謝金	助言 50,000円×8回 400,000円 (内訳) ・商品改良への助言 8回	400,000	400,000	1,001,000	
専門家旅費	静岡⇄〇〇6,250円×2(往復)×8回 100,000円	100,000	100,000		
原材料費	〇〇〇 1kg 401,000円 □□□ 20,000円×5缶 100,000円	501,000	501,000		
機械装置費	■■■攪拌装置 1,500,000円	1,500,000	1,001,000		
合計		2,501,000	2,002,000	1,001,000	

【機械装置費の計上がある場合】
機械装置費以外の経費の合計額（今回事例では、専門家謝金、専門家旅費、原材料費の合計810,000円）が機械装置費の経費額以下の場合、機械装置費以外の経費の合計額が補助対象経費の最大額になります。

補助対象経費×1/2(千円未満切捨)を記入
※交付決定額が上限になります。

対応する実績を記入

2 収支決算書(様式第3号)の作成について

(記載例)

交付決定後に計画変更の申請を行い、承認を受けている場合には、変更後の収支予算書に基づいて、収支決算書を作成してください。

作成にあたり、収支予算書(交付申請様式第3号)及び事業実績書(実績報告様式第8号)をご用意ください。

様式第3号 **経費は税抜で記入** **収支決算書(実績報告様式第3号)**

収支予算書及び事業実績書から該当箇所の転記等により作成してください。

収支決算書

1 収入の部 **「計」-「県費補助金」の値を計算して記入**

区 分	決 算 額	予 算 額	比 較		備 考
			比 増	△ 減	
県費補助金	810,000	1,001,000	0	191,000	
自己負担	1,500,000	1,500,000	0	0	
計	2,310,000	2,501,000	0	191,000	

2 支出の部

区 分	決 算 額	予 算 額	比 較		備 考
			比 増	△ 減	
専門家謝金	400,000	400,000	0	0	
専門家旅費	100,000	100,000	0	0	
原材料費	310,000	501,000	0	191,000	
機械装置費	1,500,000	1,500,000	0	0	
計	2,310,000	2,501,000	0	191,000	

転記

予算額と決算額を比較して増減額を記入

様式第3号 **収支予算書(交付申請様式第3号)**

収支予算書

1 収入の部

区 分	予 算 額	比 較		備 考
		比 増	△ 減	
県費補助金	1,001,000			
自己負担	1,500,000			
計	2,501,000			

2 支出の部

区 分	予 算 額	比 較		備 考
		比 増	△ 減	
専門家謝金	400,000			
専門家旅費	100,000			
原材料費	501,000			
機械装置費	1,500,000			
計	2,501,000			

様式第8号 **事業実績書(実績報告様式第8号)**

事業実績書(1年目)

3 経費の積算明細

経費区分	積算の明細	補助事業に要する経費	補助対象経費	補助金申請額	備 考
専門家謝金	助言 50,000円×8回 (内訳) ・商品改良への助言 8回	400,000円	400,000		
専門家旅費	静岡⇄○○6,250円×2(往復)×8回	100,000円	100,000		
原材料費	○○○ 0.6kg 250,000円 □□□ 20,000円×3缶 60,000円	310,000	310,000		
機械装置費	■■■ 攪拌装置 1,500,000円	1,500,000	810,000		
合 計		2,310,000	1,620,000	810,000	

転記